

エアロビックスのメッカに集う

1月20日、エコパアリーナで「JOCシニアオリンピックカップ全国エアロビックス選手権大会in袋井2007」が行われました。
全国各地の大会を勝ち抜いた幼稚園児から高校生301人が出場し、技術

と芸術性を競い合いました。
デモンストラーションとして市民100人エアロビックスや袋井エアロビックス協議会の皆さんが「わくわくエアロビックス」を披露。選手だけでなく会場を訪れた皆さんも楽しんでいました。



名人さんってすごい!

1月24日、山梨幼稚園で「ひもこま」、「あやとり・お手玉」、「びゅんびゅんこま」、「楽器あそび」が得意な地域の名人さんと楽しむ交流会が行われました。

園児たちは、各グループに分かれ、こま回しのこつやあやとりの指の運びを教えてもらい交流を深めました。
園児たちは、名人さんの巧みな技や豊富な知識に驚きの連続。童心に戻ったかのような名人さんたちと時間を忘れて遊びました。



みんなで協力する喜び

1月28日、浅羽会館で、「みんな輝こう！わいわいフェスティバル」が行われ、たくさんの方にぎわいました。市内で活躍する13団体が参加し、日ごろの活動の成果を発表。消費者クイズ、ラッピングや折り紙の体験コー

ナー、おでんなどのサービスも行われ、訪れた皆さんをもてなしました。男女共同参画をテーマにした寸劇が演じられたり、男女がペアになって長さ21mのジャンボ巻きすしづくりに挑戦したりして協働の大切さを学びました。



たすきをつなぎ 強まるきずな

1月24日、愛野公園で「袋井南中学校内対抗駅伝」が行われました。大会には、陸上競技部や野球部、バスケットボール部など35チームが出場し、愛野公園を周回する全長11・6kmを6人の選手でたすきをつなぎまし

た。どの選手も沿道の声援を受けながら、起伏の激しいコースを力走。生徒たちは、駅伝を通して体力づくりだけでなく、各チームの団結力も深めました。

